UnitBase テクニカルガイド





Chapter 2 と Chapter 3 ではデータベースの作成手順を流れに沿って ご説明します。 Chapter 3 では、作成したデータベースにレコードを入力する方法、 レイアウト・フィルター・クロス集計・帳票といった関連要素の利用、 クイックアクションナビの設定についてご説明します。 データベース作成後の運用に役立つ便利機能を整備することで、業務 システムをより活用することができます。

<u>Chapter 3: データベースを作る (2)</u>

- ◆ レコードにデータを入力する・取り込む
 - 方法1:直接入力する
 - ・ 方法2:表計算ファイルから取り込む
 - 方法3:帳票から取り込む
 - 方法4:メールから取り込む
 - ・ 方法5:外部データを自動的に取り込む
- ◆ レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する
 - ・ レイアウト
 - ・ フィルター
 - クロス集計
- ◆ 帳票を設定する
- ◆ クイックアクションナビを設定する

株式会社ジャストシステム



4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法1:直接入力する

データベース閲覧画面でコマンドバーの ゴード]ダイアログで必要なデータを入力、保存します。

既存レコードを編集するには、編集したいレコードをダブルクリックするか、レコードを選択 した状態で / 編集 ボタンをクリックします。

既存レコードを削除するには、削除したいレコードを選択した状態で 🔀 🕮 ボタンをク リックします。

複数のレコードのデータを同じ値で一括で更新するには、レコード一覧の 左端のチェックボックスをオンにし

	浜松運送	広瀬治之	1.有効	444-222-8888	6320007	奈良県
	さくら宮市教育委員会	中野良夫	1.有効	444-111-9999	7860048	高知県
> 🔽	(株)ローカルテレコムズ	鳥居圭子	1.有効	555-666-7777	0710477	北海道
	白松運送	川村勝久	1.有効	222-333-4444	0200504	岩手県
	(株)精巧	下村莉那	9.無効	777-888-9999	6993212	島根県
	関越放送	羽田時子	9.無効	333-444-5555	2940011	千葉県
	松芝電気	松浦千夏	9.無効	777-222-9999	0680424	北海道

レコードの一括編集					
顧客番号	(白動で入力)		ステータス*	1.有効 💌	
■顧客名	値を一括更新する	るデータにチェックを	■ ご担当者		
電話番号	レコードがすべる	て同じ値で更新される			
● 郵便番号			□ 県名		
┛ デー	タベース内の	全レコードを一招	で更新するには	は、ページ内の全レ	
]	ドを選択して	/ 編集 クリック	7後、[全件編集	へ] をクリックしま	す
	一括編集	の確認		×	
	G	選択された複数のレコード	を一括編集します。よろしい	.ですか?	



4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法1:直接入力する

✓ レコードの表示ページが複数ページにわたる場合は、削除確認ダイアログの[全件削除へ]をクリックします

- 2		•						
	V	-	顧客名	ご担当者	ステータス	電話番号	郵便番号	県名
1	V		再把土堂店堂或け园底吃	小服牛亚	0 111 31	222-111-4444	2778581	千葉県
	V		見出し行のチェックボッ	クスをクリック		999-666-2222	5150044	三重県
	V		りるとヘーン内の主レコ		ເລ	555-222-1111	4480048	愛知県
	V		ハケンライフ	相田守友	1.有効	888-444-3333	6078326	京都府
	V		日振古書堂	増井孝	1.有効	666-222-8888	7300832	広島県
	V		ベイジアン保険	土橋綾音	1.有効	555-666-5555	5161101	三重県
	V		イエロー金融	成瀬優衣	1.有効	444-999-2222	4060812	山梨県
	V		製鋼自動車	小俣紗菜	1.有効	333-888-7777	7713203	徳島県
	V		AOI	川原欽也	1.有効	111-111-1111	0301412	青森県
	1		UCC証券	渡邊結衣	1.有効	777-000-3333	8470002	佐賀県
			ゴニノガロ証券	探卡索尔	1 东林	111 444 2222	0021601	曲旧白旧







□ 方法2:表計算ファイルから取り込む(画面上の操作から)

画面上の操作から取り込む① - 単純追加

大量のレコードを新規追加するときは、表計算ファイルなどでデータを作成して、 そのファイルをデータベースに取り込みます。

表計算ファイルのデータを取り込むときに、取り込む項目を指定することができ ます。



レコード追加・更新用インポ	ートファイルの取り込み(表計	憤ファイル、CSVファイル)		×
1.取り込むファイルを指定 ファイル名: 社員一覧	してください 括登録用.csv	取り込むファイルを選 データベースのどの [フィールド名の自動	選択し、表計算フ フィールドに取り: 選択] で自動割り	ァイル各列の値を 込むか対応付ける。 当ても可能。
2.取り込み先のフィールド	を確認してください			
レコードとして取り込む	行: 2行目 🔻 から	フィールド名の自動選択		
取り込み先のフィールド	123 社員ID 🔹	□ 氏名 🔹	取り込まない	入社年月E ^
1行目	社員ID	氏名	フリガナ	■ 】 入社年月日
2行目	1001	岡田哲平	オカダテッペイ	
3行目	1002	二宮将太	ニノミヤショウ 取り	込む必要のないテータは
4行目	1003	井上悠	イノウエユウ [取り)込まない] に指定
5行目	1004	中岡麻由子	ナカオカマユコ	
6行目	1005	横山真緒	ヨコヤママオ	2006/4/1
7行目	1006	増井竜也	マスイタツヤ	2003/11/15
8行目	1007	前田雅彦	マエダマサヒコ	2003/11/15
9行目	1008	小山賢治	コヤマケンジ	2003/11/15 🔻
•	III			4
		取り込めない行があった場合	の処理: スキップして最後の	の行まで取り込む 👻
		取り込み方法: 💿 単純追加		
				∎ 取り込み方法は
		取り込む キャンセル		「単純追加]を指定



画面上の操作から取り込み可能なファイル形式や、データの記述ルール などは「3. データベースを作成する」>「作成方法2:表計算ファイル から作成する」の説明と同じです

4





□ 方法2:表計算ファイルから取り込む(画面上の操作から)

画面上の操作から取り込む② – 差分更新

表計算ファイルから一括で既存レコードを更新することもできます。 取り込みの際に「キーフィールド」を指定し、その値がマッチしたレコードを更新します。 レコードが更新されたかどうかの判定に、「レコード更新判定用フィールド」を指定することも できます。

・キーフィールド

キーフィールドのデータが既存レコードとマッチする場合にレコードを更新します。 マッチする既存レコードがないデータについては新規追加されます。複数のキーフィールド を指定した場合、すべてのキーフィールドにマッチするレコードを更新します。 明細フィールドをキーフィールドに指定した場合、更新対象のレコード内の明細で、かつ明 細フィールドにマッチする明細が更新されます。マッチする明細行が無い明細行については レコード内に追加されます。

- ※明細キーフィールドを指定しなかった場合、明細の値はすべて書き換えられます。 ただし、明細フィールドを一切取り込まない場合は以前の明細が存続されます。 また、明細内フィールドの一部を取り込んだ場合は、取り込まなかった明細内フィールド は取り込み後の明細行数分だけが存続されます。明細キーフィールドを指定しなかった場 合、明細の値は全て書き換えられます。
- ※取り込まないフィールドやURL・選択リスト・ドロップダウンフィールドはキーフィール ドとして指定できません。

※マッチするレコードが複数存在した場合は取り込めません。

・レコード更新判定用フィールド

更新判定として数値フィールド・日付フィールド・日付時刻フィールドを1つ指定できます。 指定した場合、更新するレコードが存在しても、インポートデータのフィールド値が大きい 場合のみ更新され、そうでない場合はスキップされます。

※時刻フィールドは指定できません。

	A	В	С
1	社員ID	氏名	部署名
2	1 0 0 3	井上悠	クラウド事業部 営業課
3	1 0 0 5	横山真緒	クラウド事業部 営業課
4	1006	増井竜也	クラウド 事業部 第一開発課
5	1 0 0 9	小川敏也	クラウド事業部 第一開発課
6	1010	小高有海	クラウド事業部 営業課
- 7 -	1013	堀田茂樹	クラウド事業部 第二開発課
8	1019	及川一輝	クラウド事業部 第二開発課
9	1020	邑野昌代	クラウド事業部 営業課
10	1 0 2 3	熊沢美佐	クラウド事業部 第一開発課
11	1027	中里雅彦	クラウド事業部 第二開発課
12	1 0 2 9	脇田耕司	クラウド事業部 第一開発課
13	1034	岡村彩華	クラウド事業部 第一開発課

取り込む差分データを用意



4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法2:表計算ファイルから取り込む(画面上の操作から)

画面上の操作から取り込む② – 差分更新







4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法2:表計算ファイルから取り込む(コマンドラインツールから)

コマンドラインツールを実行して取り込む

UnitBaseサーバー上にインストールされるコマンドラインツール(データインポートコマンド)を使い、データベースにCSVファイルのデータを取り込んだり、データベースに登録済みのデータを削除することができます。

例えば、 Windowsのタスクスケジューラ機能でコマンドラインツールを定期実行し、既存の外部データベースからCSVファイルに出力したデータをUnitBaseに自動的に取り込む、といった応用的な使い方ができます。

データインポートコマンドには以下の5種類の機能があります。

・単純追加

CSVファイルのすべてのデータを、新規レコードとして追加します。

・差分更新(削除あり)

CSVファイルとUnitBase内のデータベースとでキーフィールドの値を比較しながら、 UnitBase内のデータベースレコードを追加・更新・削除します。 CSVファイルに含まれるレコードのうち、UnitBase内のデータベースに存在しないレコー ドは追加し、存在するレコードは更新します。UnitBase内のデータベースに存在し、CSV ファイルに存在しないレコードは削除します。

・差分更新(削除なし)

CSVファイルとUnitBase内のデータベースとでキーフィールドの値を比較しながら、 UnitBase内のデータベースレコードを追加・更新します。 CSVファイルに含まれるレコードのうち、UnitBase内のデータベースに存在しないレコー ドは追加し、存在するレコードは更新します。UnitBase内のデータベースに存在し、CSV ファイルに存在しないレコードがあっても、レコードは削除しません。

・削除

CSVファイルとUnitBase内のデータベースとでキーフィールドの値をマッチングしながら、 UnitBase内のデータベースレコードを削除します。 CSVファイルに含まれるレコードのうち、UnitBaseに存在するレコードを削除します。

・全削除

指定したUnitBase内のデータベースのすべてのレコードを削除します。

データインポートコマンドの設定方法や操作手順などは多岐に渡るため、詳細はマニュアル 「データインポート・エクスポートガイド」を参照してください。



4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法3:帳票から取り込む

帳票ファイルとして整形されたデータをレコードとして取り込むことができます。

帳票からのデータ取り込みを行うには、あらかじめ帳票取り込みテンプレートの 設定をしておく必要があります。

詳細については、Chapter 9 でご説明します。

□ 方法4:メールから取り込む

メールに記載された内容や、メールに添付された帳票ファイルの内容をレコード として取り込むことができます。

メールからのデータ取り込みを行うには、あらかじめメール受信設定・メール取 込設定をしておく必要があります。

詳細については、帳票からのデータ取り込みと合わせて Chapter 9 でご説明します。



4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法5:外部データを自動的に取り込む

外部RDBのデータ、ファイルサーバー上の一覧形式 (CSV, Excel)ファイル、UnitBaseの帳票 ファイルのデータを、指定したスケジュールで自動的に取り込む機能を備えています。

★外部RDBからのデータ取り込みはEnterprise版のみの機能です

以下のような場面で活用いただけます。

- 基幹系システムのデータをUnitBaseに同期し、UnitBase側で必要な情報や機能を補完することで、基幹系システムのサブシステムとして活用する
- UnitBaseで利用するマスターデータ(※)を外部から簡単に取り込み、常に最新のデータに アップデートできる ※社員情報、顧客情報、製品情報など、マスターとして一元管理してルックアップして 使用するタイプのデータ
- 定期的に一覧形式ファイルで提出されるデータをUnitBaseで自動的に収集し、効率的な情報 集約とデータ活用を促進する

外部データ連係の設定は、データベースのメニューから [外部データ連係設定] から行います。



外部データ自動取り込みの設定手順などは多岐に渡るため、詳細はマニュアル「外部データ自 動取り込みガイド」を参照してください。



レイアウト

データベースを作成すると、データベースを表示するためのレイアウトが、自動 的に1つ作成されます。 最初に自動で作成されたレイアウトを編集したり、新しくレイアウトを定義した りします。

新しいレイアウトを作成する①







新しいフィールド 既存のフィールド	顧客コード	担当事業部	
既存のフィールド		-	
■□ 顧客コード			
登録日付			
□□ 担当事業部			
■□ 顧客名			
□■ 性別	登録日付	2014	/04/30 📖
4年月日	担当事業部	選択	してください 💌
122 郵価妥告			





レイアウト

既存のレイアウトを変更する①

データベース編集画面からレイアウトを選択し、既存のフィールドをドラッグすることで、配置場所や表示幅などを変更できます。

フィールドの名前や入力値の詳細など、フィールドに関する設定 はあとから編集することができます。フィールドのメニューから [フィールドの編集] を選択します。 ※項目によってはあとから変更できないものもあります。

フォームレイアウトでは、フィールドを表示するセル領域を結合して、左右または上下の領域を広げることができます。フィールドのメニューから [右のセルと結合] や [下のセルと結合] を選択します。

フィールドをレイアウトから非表示にするには、フィールドのメ ニューから [非表示にする] を選択します。



フィールドを削除するには、フィールドのメニューから [フィー ルドの削除] を選択します。

イ フィールドを削除するとデータベースから項目が削除され、フィールドを復活させることはできません。
 任意のレイアウトで特定のフィールドだけを表示させない場合は [非表示にする] を利用します。登録済みのデータも含めフィールドを完全に削除する場合は [フィールドの削除] を使用します。
 イ [数値計算] や [日時計算] の計算対象に指定されているフィールドを削除するとこれらのフィールドが正しく動作しなくなることがあります
 イ 別のデータベースのルックアップキー・ルックアップから参照されているフィールドは削除できません
 イ 以下の場合は、フィールドを削除できません
 ・フィールドの表示条件設定で使用されている
 ・選択肢絞り込み設定で参照されている
 ・条件付き入力チェックに使用されている



レイアウト

既存のレイアウトを変更する②

既存のフィールドの種類を変換することができます。 例えば、[文字列(1行)] で作成したフィールドに実際には数値しか入力しない、といった場合 には、そのフィールドを数値フィールドに変換できます。 変換可能なフィールド形式は以下の通りです。

現在のフィールド 種類	新しいフィールド 種類	補足
文字列(1行)	文字列(複数行)	_
文字列(複数行)	文字列(1行)	・改行は空白に変換されます。 ・最大文字列長が1,000文字の文字列フィールドになります。 ・1,000文字を超えるデータが既存のレコードに入っている場合は、変換でき ません。
文字列(1行) 文字列(複数行)	数値	 ・全角数字は半角数字に変換されます。 ・小数点以下の桁数が6の数値フィールドになります。 ・数値に変換できない値が含まれている場合は、変換できません。 ・変換後に整数部が9けたを超える数値になる場合は、変換できません。
文字列(1行) 文字列(複数行)	日付	「yyyy-mm-dd」形式および「yyyy/mm/dd」形式の文字列以外は変換されません。
文字列(1行) 文字列(複数行)	時刻	「hh:mm:ss」形式および「hh:mm:ss」形式の文字列以外は変換されません。
文字列(1行) 文字列(複数行)	日付時刻	「yyyy-mm-dd hh:mm:ss」形式および「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式の文 字列以外は変換されません。
文字列(1行) 文字列(複数行)	URL	・全角文字は半角文字に変換されます。 ・URL文字列は、変換先URLのURL部とラベル部になります。
文字列(1行) 文字列(複数行)	メール	全角文字は半角文字に変換されます。
数値	文字列(1行) 文字列(複数行)	数値だけが変換され、単位は変換されません。
日付 時刻 日付時刻	文字列(1行) 文字列(複数行)	元の表示形式によって、「yyyy-mm-dd」・「hh:mm:ss」・「yyyy-mm-dd hh:mm:ss」のどれかの形式に変換されます。
時間量	文字列(1行) 文字列(複数行)	秒単位に変換されます。
自動採番	文字列(1行) 文字列(複数行)	「接頭文字+連番+接尾文字」の文字列に変換されます。
URL	文字列(1行) 文字列(複数行)	・URL部だけが変換されます。 ・URL部が1,000文字を超える文字列の場合は、変換できません。 ・ラベル部は変換されません。
メール	文字列(1行) 文字列(複数行)	そのまま文字列に変換されます。

 $(\mathbf{2})$

別のデータベースのルックアップキー・ルックアップから参照されているフィールド、フィールドの表示条件設定で使用されているフィールド、 条件付き入力チェックに使用されているフィールドは変換できません



D フィルター

レコードを絞り込む条件と、絞り込んだレコードのソート順、表示するレイアウト、ハイライト、ガイダンスを組み合わせて、フィルターとして保存します。 利用者や用途に応じて作成し、フィルターを使い分けることができます。



〒 絞込検索 ▲	ℤ 並べ替え	🏥 表示・ハイライト	🗔 ガイダンス	
最 優先するフィールド 回答期限	•	A _Z ↓ 昇順 ▲ 降順 ▼	[並べ替え] シートで ソート条件を設定	シュードの
2番目に優先するフィールド 設定しない	+ + -	A₂↓ 昇順▲ 降順▼		
3番目に優先するフィールド 設定しない	+ + -	4, 昇順▲ 隆順▼		







D フィルター データベースを表示した時に特定のフィルターを自動的に適用することが できます。 データベースの設定メニューから [標準フィルターにする] を選択して設定 します。



標準フィルター設定	11 F10			- רבייד איזעת
※上から順にログインユーザーが該当	するかチェ	ックし、最初に該当したフィルターを	原準フィルターとして使用します。	
フィルター	グルー	-プ/ユーザー		
🍸 1.対応中の案件	• 11 t	サンプルグループ サポート部 窓口担	3当 · 選択	+ - +
👕 7.担当別のグルーピング	• 1	サンプルグループ サポート部 窓口マ	?ネージャー	+ - +
🕎 6.個人情報の非表示	- 11 t	サンプルグループ マーケティング部	選択	+ - +

グループ/ユーザー単位で自動的に適用する フィルターを設定



D フィルター

ノィルターを選択したとき、フィルターに設定された絞込条件を反映した
 [絞込検索] ダイアログボックスを表示できます。標準フィルターと組み合わせることで、データベースを選択した時に [絞込検索] ダイアログを表示させ、検索を行わせる業務アプリケーションが構築できます。
 [フィルター適用時にこの条件の絞込検索ダイアログボックスを表示する]
 をオンにして設定します。

	□ 絞込検索 42 並べ替え 🔡 表示・ハイライト 🧮	ガイダンス	
I	☑ フィルター適用時にこの条件の絞込検索ダイアログボックスを表示する		
	次の 😢 すべての 🔹 条件に当てはまる		
	■ 受付日付 ・ が ~		の範囲内 - + -
	■ 担当者	11	である - + -

紋込検索		×
次の すべての 🔹 条件に当てはまる		▲ ② 絞込検索とは?
● 受付日付 ・ が	···· ···	の範囲内 ~ + -
■ 担当者 ■ が	AT /	である - + -
□ ステータス ・ が 選択して	フィルターを選択すると	,a
■顧客会社名・プが	絞込検索ダイアログが表示される	10 v + -
□ 問い合わせ分類 ▼ が 選択して	cください 🗸 🖌	である - + -
□タイトル ▼ カ Aa	1	を含む ~ + -
※大文字/小文字、半角/全角は区別して検索されます。		×
	検索キャンセル	2+この条件を保存



□ クロス集計

選択したデータベースを、クロス集計で集計します。 集計の対象にするフィールドをいろいろ組み合わせることで、1つのデータを、い ろいろな角度で集計して分析することができます。







□ クロス集計



クロス集計	編集	グラフ	날 🖶				
データペース + ▼ ■ 1.問い合わせ管理 フィルター +	+ ••			商品別/	問い合わせ	分類	
👕 1.対応中の案件				クレーム	不具合	質問	総数
〒 2.対応済の案件			デスクトップパソコン	1	2		3
〒 3.カレンター表示 〒 4 新レイマウト			周辺機器		1	3	4
〒 3.4000000000000000000000000000000000000			液晶ディスプレイ	3	1		4
👕 6.個人情報の非表示			総数	4	4	3	11
🍸 7.担当別のグルーピング							
👕 8.案件を検索する							
👕 動作確認用フィルター							
クロス集計 +							
🆏 商品別/問い合わせ分類							
🌇 担当別/問い合わせ対応状況							
▶ 📃 2.契約顧客リスト							

グラフ表示への切り替え	ž			
		クロス集計を選択し [グ	ラフ] クリック	
クロス集計	🧷 編集 💵 グ	57 ڬ 🖨		
グラフ 山 縦	毒 🥃 横棒 🞤 折れ線 💼 縦積み	横詰み しんしょう しょうしょう しょう	1 軸の切替	A 文字設定 A ⁺ A ⁻
グラフ表示に切り替わる	商品別	/問い合わせ分類		
4				クレーム 不具合 質問
1				
	デスクトップパソコン	周辺機器	液晶ディスプレイ	1.





6. 帳票を設定する

レコードの内容をExcelファイルに書き込んで、体裁の整った帳票ファイルを作成できます。

出力先のExcelファイルの雛形として、あらかじめ帳票出力テンプレートを用意してデータベー スに登録しておく必要があります。 既にExcelファイルで帳票を作成・運用している場合は、そのファイルを流用して、同じレイア ウト・フォーマット・機能を持つ帳票を出力できます。

なお、ここでは帳票の出力についてのみ説明し、帳票からのデータ取込は「実践的な使い方」 で改めてご説明します。

□ 帳票出力テンプレートの作成

帳票出力テンプレートとして、Excelで通常と同じように帳票を作成し、UnitBaseからフィールドのデータを出力するセルに「キーワード」を記入したExcelファイルを用意します。

「キーワード」とは、フィールドデータや決裁情報の出力先セルを決定するために使用する文字列データです。帳票出カテンプレートを登録するときに、キーワードとフィールドを関連付けて、データの出力先セルを指定します。

帳票出力テンプレートで利用可能なキーワードの一覧は、データベース編集画面の [出力設定] メニューから [キーワード一覧] で参照できます。

🔃 出力設定▼ 🏹 外部データ連携設定 💄 🤅	央書
登録されていません	
	テーダベース編集画面の[山力設定] メニューから [キーワード一覧] を選択
◎ キーワード一覧	
「+−ワ−ド−覧 ×	
 ・ 転売のテンプレートとなるExcelファイルに、以下のキーワードを増込んでください。 フィールド 明細 レポート その他 フィールドと対応付けられるキーワードです。 	利用可能なキーワードの一覧が表示される
\${受付日付} \${問い合わせ分類} \${タイトル}	
\${ステータス} \${商品大分類} \${回答期限} ¢F問以合わせNo♪	
S(1回)/EA/2(100.7 \${担当者} \${商品小分類}	
S(てい)UB+#U/ S(顧客会社名) <(顧客会社名)	
\$(戰谷担当者石} \$(顧客住所(都道府県)} \$(顧客住所(市区町村)}	
閉じる	



6. 帳票を設定する

□ 帳票出力テンプレートの作成

キーワード一覧					×				
		3) 帳票出力	カテンプレート	のキーワード				
帳票のテンプレートとなる	Excelファイルに、以	「下のキー」	フードを増	込んでください	•				
フィールド 明	細 レポート	70	の他						V 4
フィールドと対応付けら	れるキーワードです。	0				+ +	'_ / /	ノート―筧に表示で ィールドタミーかと	されている 「の文字列を
\${受付日付}						中	ミン /	コール いるう など	DExcelファイルに
\${問い合わせ分類}						坦	し	とんでいく	
\${タ1 トル} \${ステータス}									
\${商品大分類}									
		AE C	D	E	F G H	Ι	J	K L	M N O
- \${向い台/JUNO.}	1								
\${商品小分類}	3								対応者
\${その他詳細}		(実施	様式 1)						\${担当者名}
\${顧客会社名}	5				問いる	うわせ	対	な報告書	
\${顧客担当者名}									
\${顧客住所(都道府県 \${顧客住所(市区町ね	1) }		問合t	±No.	商品			ቃ イトノ	ll l
	., ,		\${問い合	わせNo.} ■	\${商品}			\${タイト	JL}
	9		受	付日付	分類	Į.		回答期限	ステータス
	, in the second se		\${受	时日付}	\${分第	頂}		\${回答期限}	\${ステータス}
	10	a		会社	名	顧客	コード	住所	電話
	<u> </u>	客		¢∫頭友∠	<u>></u> ₩21	∫頭友	- F	〔 (月夕))を(仕所 (古区町	
	12	禄		φ\ÆR E IZ	5714J	(rerer	-1-L	I (₩4) }\$(1±1) (I)₩₩	
	13	-	tat D		服人共由交				125
	14	\${#B	9 60日 9年期時半3		同合せ内容				
	15	• <i>ि</i> •	583	\${問い合わせ内刻	{۶}			\${回答}	
		Ψ(ΛιΛ	2H)	\$ (1PJ \$ 10 1 2 1 2 1 3 2	1			Ψ(μμ)	
	16							\${#明細終了#}	
	1/					備		考	
	18								
	19 20								
	21								
	22								
	00								

帳票出力テンプレートの書式などの詳細は多岐に渡るため、本セミナーでは割愛します。 詳細についてはUnitBaseヘルプの「11. 付録」>「帳票出力テンプレートファイルについて」 の項目、ならびにマニュアル「帳票活用ガイド」をご確認ください。



6. 帳票を設定する

□ 帳票出カテンプレートの登録

作成した帳票出力テンプレートのExcelファイルをデータベースに登録します。





6. 帳票を設定する

□ 帳票ファイルの出力

帳票ファイルには、レコード単位で帳票を作成する「帳票作成」と、複数のレ コードから帳票を作成する「レポート作成」があります。

いずれの形式も、帳票ファイルの出力はデータベース参照画面の「ファイル出 力」メニューから行います。





ここでは例として、UnitBaseに付属するサンプルの「サポート部」フォルダー > 「1.問い合わせ管理」 データベースでの出力例を見てみます。



6. 帳票を設定する

□ 帳票ファイルの出力例 ①:帳票作成

1つのレコードのデータを1つの帳票出力テンプレートに出力します。

前ページの出力例のように、選択したレコードの内容が1つの帳票ファイルに埋め込まれて出力 されます。

1つのExcelファイルに複数の帳票出力テンプレートとなるシートがある場合、それぞれのシートにデータを出力し、1ファイルで複数の帳票を作成できます。





6. 帳票を設定する

□ 帳票ファイルの出力例 ②:レポート作成

複数のレコードのデータを1つの帳票出力テンプレートに一覧として出力します。 レポートの場合は、帳票出力テンプレートファイルの1シートだけにデータを出力できます。



出力した帳票ファイル

問い合わせ対応詳細

キーワードを記入したセルに 自動的に各レコードの内容が埋め込まれて 一覧として帳票ファイルが出力されます

問い合わせ一覧

	No.	受付日	問い合わせ元	ステータス	分類	タイトル	商品分類	担当者	回答期限	問い合わせNo.
	1	2016/9/30	製造A社	対応済み	不具合	パソコンが起動しない	デスクトップパソコン	井上悠	2016/10/3	Q00001
4	2	2016/10/2	金融B社	対応中	不具合	パソコンの電源が入らない	デスクトップパソコン	二宮将太	2016/10/7	Q00002
	3	2016/10/1	食品C社	対応中	クレーム	液晶が割れていた	液晶ディスプレイ	井上悠	2016/10/5	Q00003
	4	2016/10/1	保険D社	対応中	質問	USBキーボードを認識しない	周辺機器	中岡麻由子	2016/10/5	Q00004
	5	2016/10/2	保険E社	対応中	質問	USB2.0に対応しているか?	周辺機器	井上悠	2016/10/6	Q00005
	6	2016/10/5	サービスF社	対応中	不具合	可動部から異音がする	液晶ディスプレイ	二宮将太	2016/10/13	Q00006
	7	2016/10/4	製造A社	対応中	クレーム	液晶にドット抜けがある	液晶ディスプレイ	井上悠	2016/10/11	Q00007
	8	2016/10/5	教育I社	対応中	質問	コードに傷がついた	周辺機器	中岡麻由子	2016/10/9	Q00008
	9	2016/10/4	通信J社	対応済み	クレーム	ファンの音がうるさい	デスクトップパソコン	二宮将太	2016/10/5	Q00009
	10	2016/10/2	金融B社	対応中	不具合	マウスがきかなくなった	周辺機器	井上悠	2016/10/7	Q00010
	11	2016/10/3	電機L社	対応中	クレーム	液晶ディスプレイに青い点がある	液晶ディスプレイ	二宮将太	2016/10/6	Q00011





7. クイックアクションナビを設定する

クイックアクションナビの機能を使い、業務に直結した分かりやすい名前の付い たメニューを設ける、よく利用する機能にダイレクトにアクセスできるようにす るなど、画面を整備することでより使いやすい業務システムをユーザーに提供す ることができます。

□ アクションカテゴリーの作成







7. クイックアクションナビを設定する

アクションメニューの作成











7. クイックアクションナビを設定する

アクションメニューの作成

UnitBase要素



- ■メニュー項目名 メニューの項目名を設定します。
- ■フォルダー データベースが格納されているフォルダーを 選択します。
- ■**データベース** 使用するデータベースを選択します。

■UnitBaseの要素

メニュー項目に設定する要素を選択します。 ※使用するデータベースが通常のデータベースか決裁データベースか、データベースに 帳票が設定されているかどうか、等によって表示される要素が変わります。

・データベース

データベース閲覧画面を表示します。

- ※指定したデータベースに応じて、 [決裁データベース] ・ [標準フィルター付き データベース] になります。
- ・レコードの作成

選択されているデータベースの [新規レコード作成] ダイアログボックスを表示します。

・レコードの複製

選択されているデータベースで、選択されたレコードが反映された[新規レコード作成] ダイアログボックスを表示します。 「新規レコード作成]ダイアログボックスでレコードを編集し、保存します

[新規レコード作成]ダイアログボックスでレコードを編集し、保存します。

- ・レコードの編集
 選択されているデータベースで、選択されたレコードの[レコードの編集] ダイアログ
 ボックスを表示します。
- ・レコードの削除 選択されているデータベースで、選択されたレコードを削除します。



7. クイックアクションナビを設定する

D アクションメニューの作成

UnitBase要素

- ■UnitBaseの要素(続き)
 - ・フィルター

データベース閲覧画面に切り替えて、設定したフィルターを実行した状態にします。 適用するフィルター名も設定します。

・クロス集計

設定されているクロス集計を表示します。表示するクロス集計名も設定します。

・印刷

選択されたデータベースで、印刷を実行します。 [一覧] または [ビューアー] を 選択します。

- ・一覧形式の取り込み ファイルからレコードを取り込むための [一覧形式の取り込み] ダイアログボックスを 表示します。
- ・帳票の取り込み 帳票からレコードを取り込むための[帳票の取り込み]ダイアログボックスを表示します。
- ・帳票取込テンプレートの情報ダイアログ 帳票取込テンプレートのダウンロードに使用する、[帳票取込テンプレートの情報] ダイアログボックスを表示します。
- ・メールテンプレートの情報ダイアログ
 メールテンプレート用のEMLファイルやメールに添付する帳票用の帳票取込テンプレートの
 ダウンロードに使用する [メールテンプレートの情報] ダイアログボックスを表示します。
- ・CSV形式の出力 選択されたレコードをCSV形式のファイルへ出力します。
- ・帳票・レポート作成 選択されたレコードを帳票やレポート形式で出力します。
- ・決裁の実行 選択されたレコードの決裁処理を実行します。
- ・レコードコピー

選択されたレコードを、別のデータベースへコピーします。

※レコードコピーのメニュー項目を設定できるのは、コピー元データベースの所有者、 コピー元データベースのフォルダーの所有者と管理者です。



7. クイックアクションナビを設定する

アクションメニューの作成

UnitBase要素

メニュー項目の追加]:UnitBaseの要素 ×	■レコード一覧を表示せずに実行
メニュー項目名:	新しいメニュー項目	チェックをオンにするとレコード一覧を更新せ
フォルダー:	📄 サポート部 🔹	
データベース:	📄 1.問い合わせ管理 🔻	クイックアクションナヒ画面から美行9る場合
UnitBaseの要素:	😰 レコードの作成 🔹	は、データベース閲覧画面に移動ぜずに操作を
	□ 1. 標準 🔹	実行できます。
	🗐 レコード一覧を表示せずに実行	以下のUnitBaseの要素を選択した場合に表示されます
メニュー表示:	☑ ホーム画面 ☑ データベース閲覧画面	1159.
	◉ 通常 ◎ リッチテキスト	・レコードの作成
		・印刷
		・一覧形式の取り込み
説明の表示:	☑ ホーム画面 ☑ データベース閲覧画面	・ 帳 崇 の 取 り 込 か
	※説明の表示がオフの場合、ツールチップだけで表示されます。	・CSV形式の出力
戻る	OK キャンセル	・帳票・レポート作成

■メニュー表示

メニュー項目を画面内に表示するかしないかを設定します。

[ホーム画面] をオンにすると、クイックアクションナビ画面内にメニュー項目が表示されます。オフにすると、クイックアクションナビ画面では表示されません。

[データベース閲覧画面] をオンにすると、アクションナビペイン内にメニュー項目が表示されます。オフにすると、アクションナビペインでは表示されません。

■説明

メニューの説明を、全角・半角を問わず500文字以内で入力します。

通常形式またはリッチテキスト形式を選択できます。

※リッチテキスト形式の場合は、書式データが含まれるため、入力できるメッセージが 500文字より少なくなることがあります。

■説明の表示

メニューの説明を画面内にも表示するかしないかを設定します。

[ホーム画面] をオンにすると、クイックアクションナビ画面内にもメニューの説明が表示されます。オフにすると、クイックアクションナビ画面では、ツールチップだけにメニューの 説明が表示されます。

[データベース閲覧画面] をオンにすると、アクションナビペイン内にもメニューの説明が表示されます。オフにすると、アクションナビペインでは、ツールチップだけにメニューの説明が表示されます。



7. クイックアクションナビを設定する

□ アクションメニューの作成

	OI VE
--	-------

メニュー項目の追加	I:URL	×
メニュー項目名: URL:	新しいメニュー項目	
メニュー表示:	🗹 ホーム画面 🛛 データベース閲覧画面	
	◉ 通常 ◎ リッチテキスト	
説明の表示:	 ✓ ホーム画面 ジ データベース閲覧画面 ※説明の表示がオフの場合、ツールチップだけで表示されます。 	
戻る	OK キャンセル	

■メニュー項目名 メニューの項目名を設定します。

■URL

クリックしたときに表示するWebページの URLを設定します。

見出し

メニュー項目の追	加:見出し	×
見出し:	新しいメニュー項目	
メニュー表示:	🔽 ホーム画面 🛛 データベース閲覧画面	
説明:	◉ 通常 ◎ リッチテキスト	
説明の表示:	▼ホーム画面 ▼ データベース閲覧画面	
	※説明の表示がオフの場合、ツールチップだけで表示されます。	
戻る		

見出し
 メニュー項目を見やすくするための
 見出しを入力します。



□ アクションメニューの作成

7. クイックアクションナビを設定する

定型メニュ	_		
メニュー項目の追加	定型メニュー		×
フォルダー: データベース:	Technical Seminar [決裁]作業申請	*	
定型メニュー:	レコードの閲覧/作成/複製/編集/削除	•	
戻る	 決裁の申請 公開フィルターを追加 決裁処理 公開クロス集計を追加 		

■フォルダー 定型メニューを設定するデータベースが格納 されているフォルダーを選択します。

■データベース 定型メニューを設定する使用するデータベー スを選択します。

■定型メニュー

設定する定型メニューを選択します。

[定型メニュー]を選択すると、データベースに対する典型的なメニュー項目の組み合わせを 一気に作成できます。

定型メニューでは、以下の項目を設定できます。

・レコードの閲覧/作成/複製/編集/削除

レコードの閲覧、レコードの作成、レコードの複製、レコードの編集、レコードの削除 ・決裁の申請

決裁の作成、決裁の編集、自分が申請した決裁を確認、自分が代理申請した決裁を確認、

·決裁処理

決裁する、決裁の編集、代理決裁する

・公開フィルターを追加

ログインユーザーに参照権がある公開済みの全フィルターがメニューとして表示されます

・公開クロス集計を追加

ログインユーザーに参照権がある公開済みの全クロス集計がメニューとして表示されます



7. クイックアクションナビを設定する

クイックアクションナビの作成例











7. クイックアクションナビを設定する

□ 既定のアクションカテゴリーの設定

選択したデータベースで、データベース一覧表示からアクションナビ表示に切り替えた際に 既定で適用するアクションカテゴリーを指定できます。



□ レコードの変更履歴を保存する	5 🔿 詳細設定	
🗌 レコードの作成者・更新者の表	長示や出力を隠す	
既定のアクションカテゴリー:	 問い合わせ管理 	
	 初期表示: ◉ データベース一覧 ○ アクショ	ンナビ
URL: http://localhost/unit	pase/app/dbtable/index [既定のアクミ 適用するアク	/ョンカテゴリー] で ションカテゴリーを設定

[既定のアクションカテゴリー] で適用するアクションカテゴリーを設定した場合は、 [初期表示] でデータベース閲覧画面の左側の初期表示をデータベース一覧にするか アクションナビ表示にするか選択できます。

既定のアクションカテゴリーを使用しない場合は [指定なし] のままにします。



7. クイックアクションナビを設定する

□ 既定のアクションカテゴリーの設定

データベース一覧表示とアクションナビ表示を切り替えるには、一覧の下部にある切替ボタンをクリックします。



既定のアクションカテゴリーが設定されていないデータベースでは、[アクションナビに切替] ボタンをクリックするとアクションカテゴリーを選択するように促されます。

